

大阪自然史フェスティバル2023でのシンポジウム

「OSAKA ベイエリアに、いのち輝く自然を取り戻すために」

生物多様性のポテンシャルの高い夢洲を中心に、大阪でネイチャーポジティブをすすめ、持続可能な大阪の創造のために 30by30 や自然共生サイトの果たす役割について学びます。

- ・日時：2023年11月19日（日）10:00～12:30
- ・場所：大阪市立自然史博物館・講堂
- ・定員：先着170名（無料・予約不要）

プログラム（敬称略）

時間	内容
10:00 開会	開会あいさつ 司会：ルトゥゼイ・エミリー（大阪自然環境保全協会会員・フィッセン公益財団法人・大阪大学人類学研究室）
ビデオレター 上映	野鳥の生息場所としての夢洲（動画・字幕付） リチャード・グリメット（国際環境 NGO バードライフ・インターナショナル本部 保全ディレクター）
ミニ講演 1	大阪湾の自然再生に向けてー海岸生物ウェルカムリストの試み 山西良平（西宮市貝類館 顧問）
ミニ講演 2	ランドスケープから見た夢洲 夏原由博（大阪自然環境保全協会 会長）
ミニ講演 3	自然共生：世界の動向と夢洲・大阪湾の保全・回復 渡邊綱男（IUCN（国際自然保護連合）日本委員会 会長）
休憩	10分程度
11:20 頃から パネル ディスカッション	ファシリテーター／佐久間大輔（大阪市立自然史博物館 学芸課長） パネリスト／山西良平・夏原由博・渡邊綱男・八元綾・寺川裕子 （簡単にパネリストの活動を紹介） ネイチャーポジティブに向けて関西・大阪への期待 八元綾（環境省 近畿地方環境事務所 統括自然保護企画官） 堺7-3区の取り組みと大阪湾の再生 寺川裕子（NPO 法人共生の森 理事）

主催：公益社団法人 大阪自然環境保全協会

後援：公益財団法人 日本自然保護協会・公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン・

公益財団法人 日本野鳥の会・日本野鳥の会大阪支部・NPO 法人 AM ネット・NPO 地域づくり工房

連絡先：公益社団法人 大阪自然環境保全協会 夢洲生きもの調査グループ yumeshima@nature.or.jp

<当日 Live 中継およびアーカイブ配信があります。大阪市立自然史博物館の YouTube をご覧ください。>



このシンポジウムは 2023 年度環境再生保全機構 地球環境基金の助成を受けています。
助成名「SDGs 万博市民アクション」